

「大すぎなとつとばあ」

行仁小学校 二年 よねざわ えいた

ぼくが、まえにすんでいたいえのとなりには、九十さいになるおばあちゃんがいます。

そのおばあちゃんは、むかし、とりをかっていたので、「とつとばあ」とよばれています。

とつとばあは、ぼくのお母さんが小さいころもめんどろをみてくれていたそうです。ぼくが生まれてからも、よくめんどろみてくれています。だから、とつとばあにはおや子でお世話になっています。いっしょにさんぽしたり、おやつをたべたり、はたけしごとのおてつだいもしました。とつとばあは、いつもわらっていて、やさしくて、何でもいっしょ

うけんめいです。小さい体だし、足はふじゅうだし、手もしわしわで、もうすぐ九十さいになるのに、びっくりするくらいパワーがあります。ぼくは、そのパワーはどこから出てくるのか、ふしぎに思うことがあります。でも、そんなパワーにぼくはげん気をもらっています。

ぼくは、小学校に入学するときに、今のいえにひっこしをしました。だから、今までみたいのに、とつとばあといっしょにすごすじかんがなくなってしまうました。今までいっしょにすることがあたりまえだったので、とてもさびしいきもちになりました。だから、ぼくが休みになるときは、とつとばあに会いに行きます。「ただいま」とあいさつに行くと、ぼくにまけないくらいげん気に「おかえり」

とかえしてくれます。ぼくは、とつとばあがげん気でいてくれることがうれしいなと思います。

ある日、お母さんから、「とつとばあが入いんした」と聞きました。心ぞうがよわくなっているから、入いんしておいしやさんにみてもらったそうです。ぼくは、とてもしんぱいになりました。少したって、たいいんしたとつとばあに会いに行きました。少しやせて、まえよりも小さくなった体とげん気がないとつとばあを見て、もつとしんぱいになりました。まえみたいにはたけしごとはできなくなっただけ、少しずつげんきになっているようすを見て、ホッとしました。もつともつとげん気になるように、こんどはぼくがパワーをあげなくちゃと思いました。

---

いつもわらっていて、げん気で、何でもいっしょうけんめいなとつとばあ。今まで、たくさんパワーをありがとう。ぼくにとって、とつとばあは、かぞくとおなじくらいたいせつだよ。だから、あんまりむりしないでね。ぼくは、とつとばあがいつまでもげん気で、わらっていてほしいなと思うよ。これからは、とつとばあがげん気でいられるように、ぼくがパワーをあげるからね。また会いに行くからね。大すきだよ。